

「営農情報メール」配信中!

登録無料!!

作柄情報 病害虫対策 青果物概況 イベント案内 など

◆ご登録は、右記のQRコードまたはJA山武都市のホームページから!
(スマートフォンもしくはパソコンのメールアドレスをご登録ください。)

◎JA山武都市の組合員なら、どなたでも登録できます!!



トウモロコシ

グリーンプラザ
営農指導員 古谷 公一



表② 令和2年度産 トウモロこし部会奨励品種

系統	品種名	種苗会社	日数タイプ	作型	播種時期目安	特徴
イエロー	ゴールドラッシュネオ	サカタのタネ	82~83	早期トンネル	3月10日まで	雌穂はゴールドラッシュより大きめ、先端不稔は少なくよくそろるので秀品率が高い。若干ゴールドラッシュより草丈が高くなる。
	ゴールドラッシュ	サカタのタネ	83~84	トンネル	3月20日までトンネル栽培	中早生タイプ。発芽、低温伸張性がよくハウス栽培から使える。先端不稔は少なく、収穫物は2Lで安定する。
	恵味スター	清水種苗	87			中早生タイプ。低温時の発芽安定。草丈は180~190cm程度で、根張りよく倒れにくい。しなびにくい。店もちがよい。
	ゴールドラッシュ90	サカタのタネ	90	トンネル・マルチ	3月20日以降マルチ栽培	熟期は90日の中晩生イエロー。絹糸抽出日から収穫までの期間は現行並みだが、糖度が高くしなびにくい。草勢がよく、倒れにくい。

※ゴールドラッシュは3月20日以降の播種は厳禁とします(適期収穫を心掛け、しなび発生を防止しましょう)。
※ハウス栽培の奨励品種はゴールドラッシュ、ゴールドラッシュネオとします。

令和元年産を振り返って

4月上旬の寒さの影響で、3月下旬播種のトンネル栽培において大幅な生育の遅れがみられました。また同様の理由で、4月上旬前後に播種した露地栽培では、発芽不良が多発しました。

品種の選定

トウモロコシ部会の奨励品種は昨年と同様です(表②参照)。収穫遅れとならないように、計画的な作付けを行います。ゴールドラッシュ90は低温時に発芽率が低下しますので、4月に入ってから播種をお勧めします。

次作に向けて

マルチ被覆は早めに(播種1週間前まで)展開し、地温・土壤水分を確保しましょう。播種は、地温が十分に確保(13℃以上)され、3~5日間、好天が続くと予想されたときがベストタイミングです。日照時間が少なく、発芽日数が長くなると腐敗の原因になります。

播種穴は、深さ1センチ(人差し指の第一関節)を基準として、水分状況で調整します。多湿時はやや浅めに、乾燥時はやや深めに播種します。土を軽く握って崩れない程度の水分状況が最適です。

病害虫防除を徹底しましょう

すす紋病は低温時の降雨条件下で、紋枯病は降雨後の高温で発病のリスクが高まります。また、台風や強風の倒伏被害により病原菌の侵入が助長されます。倒伏株は、無理に起こさず自然回復を待つとともに、降雨後の薬剤散布で



写真⑥ 紋枯株元



写真⑥ すす紋病(激発)

●紋枯病(写真⑥)

水はけの悪い圃場で発生します。発生してからでは完治が難しいので、雄穂開花期にリゾレックス水和剤を予防散布するとともに、排水対策や追肥による樹勢の維持に取り組みしましょう。

●すす紋病(写真⑤)

前年の被害葉で伝染源が越冬するため、発病のあった圃場ではできるだけ作付けを控えましょう。防除は雄穂開花期にトリフミン水和剤・チルト乳剤25を散布します。

農業 テクニカルダイアリー

Agricultural-work technical diary



ブロッコリー

営農部営農振興課
営農指導員 小塚 哲義

病害虫防除

「黒すす病」はブロッコリー栽培において近年増加している病害です。収穫時に病斑が小さく、見落とすと市場やスーパーに並ぶ頃には病斑が拡大しているため、著しく商品価値を低下させます。防除策としては育苗時からの予防散布を心掛け、病原菌の侵入を未然に防ぐ対策が必要です。

黒すす病

病原菌はカビの一種で、前年の被害

表① ブロッコリーの「黒すす病」に登録のある殺菌剤

農薬名	希釈倍率	使用時期	使用回数	特性			他の適用病害
				予防	治療	浸透移行	
アミスター20フロアブル	2,000倍	3日前	3回	◎	○	○	べと病
アフエットフロアブル	2,000倍	前日	3回	◎	△	△	菌核病
パレード20フロアブル	2,000倍	前日	3回	◎	○	○	菌核病

黒すす病



▲写真② 初期病斑

▲写真① 葉の病斑

▲写真③ 病斑の拡大

残渣や、種子で越冬伝染します。気温25℃前後で降雨と強風により発病が多くなります。被害が出た圃場での連作は避け、アブラナ科以外の品目で輪作を行うようにしてください。また、加湿条件下で発病が多発するため、明渠の設置や、春ブロッコリーではトンネル換気を励行し、湿度を下げる対策を心掛けてください。

10月の分析経過について

合計4点	
多成分一斉分析	
残留農薬分析点数	
越冬ナス	1点
ダイコン	1点
ブロッコリー	1点
サラダ菜	1点

※残留農薬分析において、基準値を上回る成分は検出されませんでした。

土壤診断点数 … 合計18点



▲写真④ 黒腐病の病斑

す。やがて病斑中央部に穴が開き、病斑周辺は黄色になります(写真①)。また花蕾は黒色の小斑点を生じた後、病斑が拡大して黒褐色に腐敗します。病斑部には黒色のカビを密生します(写真②③)。

出蕾前に葉に病斑が発生すると、花蕾へ進展する可能性が高いことから、葉の発病を抑えるよう、表①の殺菌剤で予防散布を心掛けましょう。

黒すす病と似た病害の「黒腐病」は、細菌病で葉に黄褐色V字形の病斑を形成する点で区別できます。登録薬剤も異なるため、注意が必要です(写真④)。